

栃木県鹿沼市の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 鉄道が2路線、民間のバスが3路線、市営バスが15路線運行しており、人口カバー率は8割を超えている。
- 地域間のサービスレベルの格差や利用者が非常に少ない路線が存在する。
- 本市は、平成18年1月に鹿沼、栗野の旧2市町が合併して誕生したが、バス交通は旧市町単位で構築されたものであり、現在のニーズに合っていない。

活性化の目標・方向性

- 「市民が安心して利用できる“生活の足”を確保する」ことを基本に、既存の市営バスを基幹とし、地域の特性に合った公共交通の再構築を行い、将来にわたり持続可能な公共交通とすると共に、地域の活性化につながる公共交通を目指します。

実施する事業の内容

- 鹿沼市コミュニティバス実証運行事業（平成21年10月～平成23年度）
 - ◆ルート ①粕尾地区～旧栗野市内～縦山駅～新鹿沼駅～鹿沼駅
②栗野地区～旧栗野市内～縦山駅～新鹿沼駅～鹿沼駅
 - ◆本数 ①1日9往復 ②1日9往復
 - ◆運賃 区間均一料金：1区間100円（最高5区間）
- ダイヤモンド運行の実証運行事業（平成21年10月～平成23年度）
 - ◆区域 粕尾地区（上粕尾、中粕尾）
 - ◆運賃 利用距離が7.5kmにつき100円（最高200円）
- 車両購入（平成21年10月）
 - ◆車両 小型バス2台、ワゴン車2台

栃木県鹿沼市 : 総合事業の実施区域

